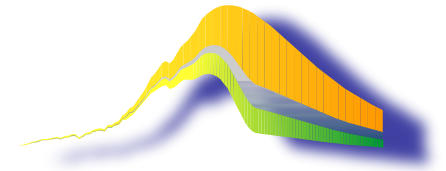


C&C

“Contraction and Convergence”



[JAPANESE TEXT]

1. 「Contraction and Convergence(C&C)」は、Global Commons Institute (GCI、地球の民協会)が1990年から国連に提案している科学的見地に基づいた地球規模の気候政策の枠組みⁱ_{ii iii iv}である。
2. 「国連気候変動枠組条約(UNFCCC)」によってすでに合意されたように、大気中の温室効果ガスを安全かつ安定した濃度に保つという目的と、警戒と公平の原則とによってC&Cの枠組みに基づく公式算出基準が規定され、それによって下記のような提案が行われる。
 - 大気中の温室効果ガス(GHG)濃度を、IPCC WG1炭酸ガスサイクルモデリングに従って安全とみなされる最大限の数値として事前に合意された濃度で安定させることができるレベルまで、地球全体の排出量を削減するための長期的な削減予算[GCIは450 ppmv CO₂相当を「安全でない」とみなしている]。
 - 国家間での予算配分は「資格」として、長期的な削減/濃度協定のスケジュール内の合意された日までの直線的な縮小率の交渉可能な比率から、一人一人に均等に配分されるよう算出されたものである。[GCIでは、[1] 2030年または2040年、または例えば削減を完了する100年分の予算の約1/3[下記第5項、画像1、2参照]と、[2] C&Cスケジュールにおける人口ベース年に賛成することの2点を示唆している]
 - UNFCCCにおけるこの交渉は、各地域の国家間で最初に行われる交渉として世界の地域間すなわち欧州連合、アフリカ連合、米などの間で主に行われるべきである。
 - これらの資格をInternational Energy Backed Currency Units (国際エネルギー本位通貨単位) [エネルギー本位通貨]^vなどの適切な通貨を使用して地域間、国家間、国家内で取り引きすることを奨励するべきである。
 - 排出量ゼロの経済と濃度との関係に対する科学的な理解の発展に従って、C&Cの比率は定期的に見直しを行って変更することが可能である。
3. 現在、地球社会において継続している危険な気候の変化は、それを防止するための対応準備よりも速く進んでいる。国際的外交の課題はこの流れに逆らうことであり、C&Cの目的はこれを可能にすることである。これによって危険な地球の気候変動を防止できる速さで国際的な政策と措置が行われるよう、安全な気候を算出し交渉によって配分できるようなシナリオが可能となる。
4. GHGの排出は、現在に至るまで経済活動と密接な関連がある。今日までこの経済成長と排出量の増加はほとんど工業国で起こっているものであり、近年では地球規模のパターンとして不経済な拡張と相違[E&D]や環境の平衡失調、国際的な不安を生み出している。
5. これに対するC&Cの回答は、短期的確率論的であるよりもむしろ長期的体質的なものである。C&Cは濃度の増加についての「歴史的な責任」においては、新たに工業が発展してきた国々にとってはこれが発展する機会の代償であることを認識しながら、慣性を根拠として提起している。C&Cによって、このように取引可能でそれゆえ価値のある、将来温室効果ガスを排出する資格を国際的に配分することが可能となり、それは合意された地球全体の削減率に関連して慎重に早められた縮小率から得られた結果である[画像2参照]。

6. 英国王立環境汚染委員会^{vi}とドイツ地球変動報告会議^{vii}は、いずれも気候変動に関する政府への推奨事項として公式のC&Cの観点から述べている。多数の個人、機関によるC&C支持の発言が記録されている^{viii ix}。1997年にはAfrica Group of Nations（アフリカ国家グループ）がUNFCCCに対して公式にC&Cを提案している^x。これは1997年京都で開催された第3締約国会議(COP-3)においては、原則として合意された^{xi}。C&Cは同年米上院で採択されたバード決議の要求事項^{xii}に準拠し、また欧州議会では1998年にC&Cに賛成する決議案が通過した^{xiii}。
7. このようなC&Cの統合によって、より危険度を増す傾向にある地球の気候変動の不安定さを是正することが可能となろう。地球上での権利、資源の保護と持続可能なシステムを基礎とする安定したC&Cシステムは、あらゆるものにとって経済を安全で公平な未来に導くために必要とされている。同システムは国連の条約における利益と約束とに基づき、京都議定書の発効のいかににかかわらず緊急に国際的な支持と対策を得るのに十分な強制力を持つアプローチを確立している。

i <http://www.gci.org.uk>

ii <http://www.gci.org.uk/model/dl.html>

iii [http://www.gci.org.uk/images/CC_Demo\(pc\).exe](http://www.gci.org.uk/images/CC_Demo(pc).exe)

iv http://www.gci.org.uk/images/C&C_Bubbles.pdf

v <http://www.feasta.org>

vi <http://www.rcep.org.uk/pdf/chp4.pdf>

vii http://www.wbgu.de/wbgu_sn2003_engl.pdf

viii http://www.gci.org.uk/Archive/1989_2004

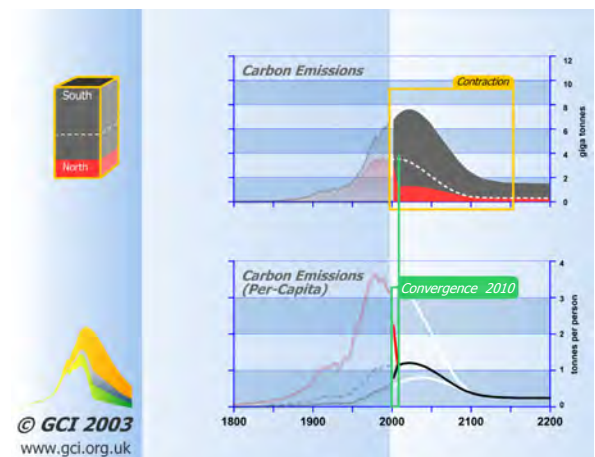
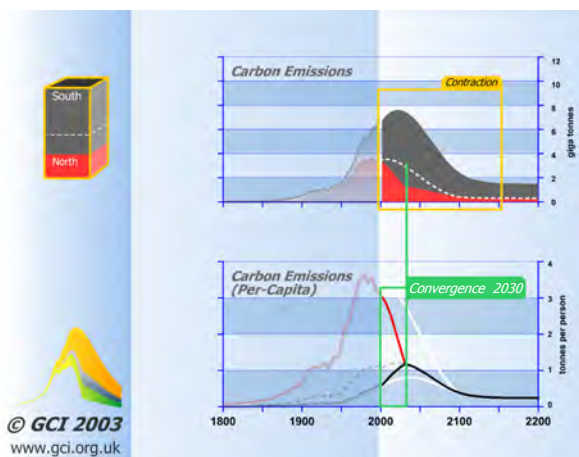
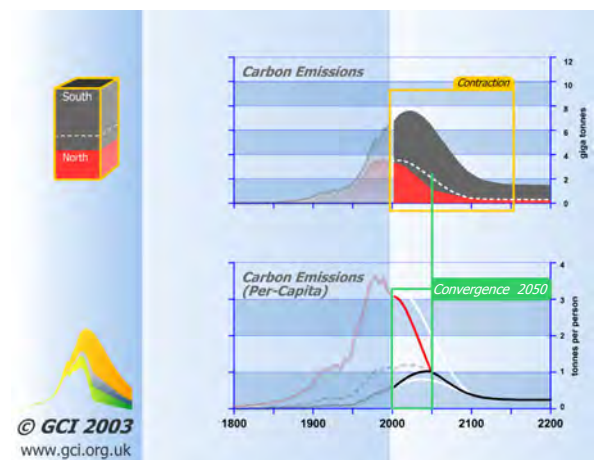
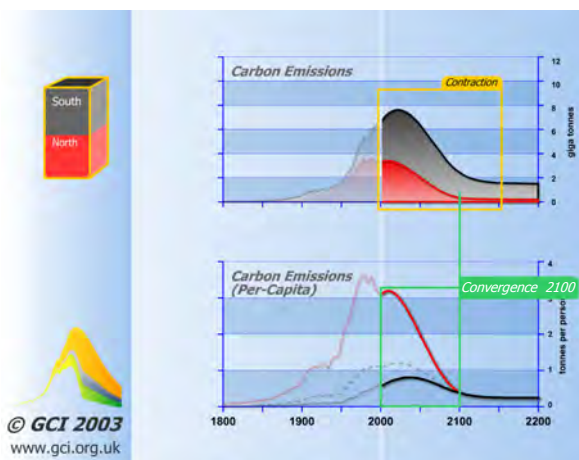
ix <http://www.gci.org.uk/consolidation/Sasakawa.pdf>

x <http://www.gci.org.uk/papers/zew.pdf> [付属書C、16ページ]

xi http://www.gci.org.uk/temp/COP3_Transcript.pdf

xii <http://www.gci.org.uk/briefings/C&C&ByrdHagel.pdf>

xiii http://www.gci.org.uk/consolidation/UNFCC&C_A_Brief_History_to1998.pdf [27～32ページ]



The United Nations Framework Convention for “Contraction and Convergence” [UNFCC&C]

Global Commons Institute [GCI], 57 Howard Road, London E17 4SH, UK. 00 44 (0)208 520 4742

www.gci.org.uk - aubrey.meyer@btinternet.com